

# えがお大東っ子

## 第56号

大東市のホームページでも「えがお大東っ子」をご覧ください。

<http://www.city.daito.lg.jp/kakukakaranoosirase/gakoukyoiku/kyouikukenkyu/egaodaitoukko/>

### 令和3年度 第10回大東市教育研究フォーラム

大東市教育研究フォーラムは、大東市の公立学校園の教職員・保護者・市民で、広く大東市の教育について考える場です。10回目の開催となる今回は、令和時代の教育で重要視されている個別最適な学びについての基調提案を予定しています。

今後、大東市で取り組んでいく個別最適な学びについて知っていただくためにも、大東市教育研究フォーラムに、ぜひご来場ください。

- テーマ：『大東市のこれまでの実践と個別最適な学びについて』

～令和の時代の教育に向けて～

- 日時：令和3年8月24日（火） 午前10時00分～11時50分

（開場・受付 午前9時40分～9時55分）

- 場所：大東市立市民会館 キラリエホール

#### 【プログラム】

- 1. 開会                    あいさつ                    東坂 浩一 市長

趣旨説明                    水野 達朗 教育長

- 2. 基調提案                    関西大学                    総合情報学部

教授                    小柳 和喜雄 氏

「個別最適な学びの実現に向けて

～大東市の教育に関わる中で～



### 図書館を使った

### 調べる学習コンクールについて

大東市立図書館では、今年度も「図書館を使った調べる学習コンクール」を開催します。このコンクールは、図書館の本などを使って、気になることや興味のあることを調べて作品にまとめ、応募するものです。

応募期間は8月23日から9月10日まで。市内に住んでいる小学生から大人の方まで応募できます。

（市内の学校に通っている方でも可）

昨年度は、計202点もの応募作品が集まり、その中から選ばれた優れた作品に「市長賞」など各賞が授与されました。上位入賞作品は、全国コンクール（東京）にも出品され、昨年度は「奨励賞」に2作品、「佳作」に3作品が選ばれました。

市内の3図書館（中央・西部・東部）では、その作品づくりをサポートする「説明会」や「相談会」を開催します。この夏、ぜひ「何かを調べる楽しさ」や「調べて発見するよろこび」を見つけてください。詳しくは、広報『だいたう』や図書館のチラシ・HPをご覧ください。直接図書館までお尋ねください。



## 大東市内の各学校園の取組み紹介のコーナー

### 南郷中学校

### 「GIGA スクール構想」に向けて

現在、2019年12月に文部科学省から発表されたプロジェクト「GIGA スクール構想」により小・中学校の教育は大きく転換期を迎え、新しい社会を生きる子どもたちにとってコンピュータ端末は学習活動において不可欠となっています。GIGA とは、global and innovation gateway for all の略で、この構想は生徒1人1台PCと学校に高速大容量の通信ネットワークを整備し、多様な子どもたちに最適化された創造性を育む教育を実現するものです。

令和3年度より本校は、大東市 GIGA スクール推進事業研究推進校（モデル校）の委嘱を受け、定期的にアドバイザーを招聘し自校の取組みに対し指導・助言を受けています。



ICT は教員と生徒、生徒同士が双方向でつながることのできる学習ツールであり、タブレットの活用により主体的で対話的な学習の可能性が広がります。

これからさらに ICT 機器を活用した授業づくりに取り組み、生徒の学習状況を把握したきめ細やかな指導や写真や動画などを用いて自分の考えをわかりやすく示すスキルの構築など一人ひとりの特徴や実態に応じた学びの保障の実現をめざします。



### 南郷小学校

### 創立130周年を迎えて



地域の皆様や保護者の皆様のご支援を賜りながら、「元気で 仲よく 美しく」という校訓のもと、「豊かな心をもったたくましい子」の育成に取り組み、今年で百三十周年を迎えることができました。

あいにくのコロナ禍でさまざまな制限がある中ですが、そんな時こそ子どもたちに素敵な経験をさせたいと、昨年度から記念行事の準備を進めてきました。そして、ジェネシスオブエンターテイメントさんの車いすダンスの公演を実施することができました。

本格的な照明や音楽に合わせて車いすダンスが始まると、子どもたちはぐっと前のめりになり、キラキラと目を輝かせて見入っていました。また、ご自身の体験についてもお話をいただき、子どもたちも一生懸命に聞くことができました。

今回のテーマでもある、障がいのあるなしにかかわらず「共に生きる」ということを、見て、聞いて、感じて、しっかりと学んだということが、感想文からも読み取ることができました。

今後も、人権感覚を養い、「豊かな心」を育みながら、子どもたちがいきいきと輝いている南郷小学校であり続けたいと思います。



## 氷野小学校

昨年創立50周年となった本校のめざす子ども像は

「豊かな心をもったたくましい子」

本校はこれまでも、切磋琢磨する教員集団が、子どもを中心に据えたつながりある取組みを多面的に展開するとともに、「地域とともにある学校」として教育活動を進めています。

令和3年度は特に、本校は「大東市 GIGA スクール推進事業研究推進校（モデル校）」として、一人一台端末を各教科等の指導場面でどのように効果的に活用するかを考え、決して活用ありきではなく、これまでの学習の中に日常的にICT機器を組み込むことで一層の授業改善を図り、ひいては子どもたちの「わかった!」「できた!」「もっと自分で学びたい!」

があられる教育環境を構築していきます!校内では、年間カリキュラムを作成し、6年間で系統立てた学びができるよう「学年別ICTスキル~つけたい50の力~」に基づいた学びを、モデル校としての中心的な取組みとしています。



日々の様子は、毎日配信しています[本校ホームページ【「大東学び合いネット」→「氷野小学校」を検索】のカテゴリー「GIGAスクール」をご覧ください!](#)お待ちしております!

## 北条中学校

「単元テストとタブレットの活用がんばっています!!」

本校では定期テストを廃止し、学習内容の一つのまとめり(単元)ごとに理解できているかどうかを確認する単元テストを実施しています。再テストを一度だけ設け、学び直しの機会にしています。生徒アンケートでも「範囲が少なく勉強しやすい」などおおむね好評です。市教育委員会にも助言いただいている塾の講師の方からも「北中生は、単元テストの度にまるで定期テストのときのように質問してきます。また再テストにも意欲的です」と肯定的なご意見をいただきました。

また、生徒がタブレットを活用する授業にも積極的に取り組んでいます。例えば、社会科で「ポジショニング機能を使って自己の意見を表明する、理科の実験を撮影しての動画作成、平方根の難問の解法についての解説動画、「世界に売り込む日本のアイス」などを英語で説明する際にパワーポイントを活用、体育の実技を動画撮影して自分で見直すなど、ICT活用に関しての生徒の能力はすばらしく、今後も活用の幅を広げていきます。



## 北条小学校

## 「積極的タブレット活用」

北条小学校では、プログラミング学習、調べ学習、発表資料の作成、ノートの共有等でタブレットを積極的に活用しています。

6年生の外国語科“How is your school life?”では、単元のまとめとして、自分の宝物を英語で紹介しました。発表の準備として、子どもたちは事前にタブレットを持ち帰り、宝物を撮影しました。家族の写真、表彰状、人形、手紙、本など、子どもたちの思いがたくさんつまんだ宝物の写真が集まりました。



発表当日は、一人ひとり、撮ってきた写真を見せながら自分の宝物を英語で紹介しました。実物を見せながら紹介することで、伝える側も思いを表現しやすくなり、聞く側も内容をより理解することができたように感じました。

今、学習を進めている“Let's go to Italy.”の学習でも、タブレットや図書資料を活用して、様々な国についての調べ学習を行っています。今後、調べたことをパワーポイントやポスターにまとめ、英語で紹介していく予定です。



## 北条幼稚園

## 「がんばルンルン パワーアップ！」



北条幼稚園では4歳児14名、5歳児22名の子どもたちが元気に登園しています。毎年秋には音楽会があり、5歳児は和太鼓を披露しています。今年度の5歳児も4歳児の時から、立ち方やバチの持ち方、リズム打ちを練習して来ました。肘を真っ直ぐに伸ばして立つ姿はとてもかっこいいですね。音楽会ではクシコスポストを4歳児と一緒に披露します。



4歳児は令和4年度からは「北条こども園」へ移行することになります。緊急事態宣言が明けてから5歳児で同じクラスになる北条保育所の4歳児と交流をしました。並んで挨拶をして、ホールで表現遊びをしたり、クラスで机に保育所の友だちと隣同士で座って紙コップロケットをつくったりしました。これからもたくさん交流をし、次の4月に子ども園の園舎に通うことになった時に「〇〇さん、おはよう」と挨拶ができるくらいに仲良くなれたら嬉しいです。

北条幼稚園では今、夏野菜がたくさん収穫できています。自分たちで種や苗から植えて水やりをした野菜を収穫し、持ち帰っておうちの人に美味しく料理をしてもらって食べる取組みが苦手な種類の野菜を一口でも食べるきっかけになってくれればうれしいなと思います。

